

2021年1月29日(金)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

障がい者アート活動応援広告の実施

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役:村井弘道、以下「オリザ油化」)は、自社で販売するこめ油の広告費用の一部を障がいのある方のアート支援活動に充てる取り組みを実施する。

■「OKB ギャラリー tomoni アート展」への協賛

本活動は、当社オリザ油化の主要取引先銀行である大垣共立銀行(本店:岐阜県大垣市、取締役頭取:境敏幸)が、障がいのある方の芸術文化活動をサポートするため、岐阜県教育文化財団と連携協定を結び企画し実施しているもの。

「OKB ギャラリー tomoni アート展」は現金封筒の紙面をキャンバスに見立て、大垣共立銀行の ATM に設置の現金封筒表面に岐阜県出身の障がいのある作家の作品を掲載し、裏面に企業の広告を載せる。企業広告主は財団から紹介があった 10 人の作家作品の中から表面に掲載する作品を選び、その使用料を負担。使用料の全額が作家に支払われる仕組み。

今回、主要取引先銀行である大垣共立銀行から本活動の提案を受け、障がいのある方のアートに触れる機会を提供し、その魅力を伝え、作品と人との出会いへとつなげるという取り組みに共感し、広告を通じた支援を決めた。

大垣共立銀行の以下支店において、数量限定で同封筒を設置、配布する。配布は 2 月中旬ごろから。

(設置配布店)

笠松支店、岐南支店、木曾川支店、柳津支店、羽島支店

※いずれも岐阜県内

オリザ油化は創業から 80 余年、一貫してこめ油の製造販売事業を継続してきた。近年、こめ油は一般消費者の間でも、健康志向、使い勝手の良さなどから認知度が高まっている。

オリザ油化は、他のこめ油メーカーと異なる SDGs を意識した低温抽出法と呼ばれる独自の製造技術(世界特許取得)によって、CO2 発生量やエネルギー消費など環境負荷を低減させたこめ油の製造を 1980 年代よりスタートさせている。また、機能性素材の開発・製造・販売事業においても、2020 年度から販売を開始したアフリカ原産の紫茶エキス/紫茶葉の売上の一部をアフリカへ支援する取り組みもスタートするなど SDGs の取り組みを強化している。

地域のこめ油メーカーとして、地元一般消費者へ PR を進めていくと同時に、サステナブル貢献企業として、SDGs 対象ゴール 3 「すべての人に健康と福祉を」の達成も目指していく。

オリザ油化の SDGs の取り組みについては同社ホームページにて公開中。

<https://www.oryza.co.jp/recruit/sdgs/>

【SDGs 対象ゴール】



オリザ油化株式会社 本社 〒493-8001 愛知県一宮市北方町沼田 1 TEL:0586-86-5141

東京営業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-5 デiamondビル 5 階 TEL:03-5209-9150

HP:<https://www.oryza.co.jp/>